

2010年度

|  |  |     |       |
|--|--|-----|-------|
| 科目名  | 演習1A   |     |       |
| 担当教員   | 犬木 努   |     |       |
| 配当   | 文財3  | コード | 33150 |
| 開期   | 前期   | 講時  | 水曜日3限 |
|  |  | 単位数 | 2     |
| 授業テーマ  | 卒論のテーマを決定する—研究課題の選定と、先行研究についての批判的検討  |     |       |
| 目的と概要  | 早い段階で、各人の卒論のテーマをしばりこみ、そのテーマについて調べた結果を発表してもらう。毎回、発表担当者を決め、各人のその時点における「成果」について発表し、討論を行う。 |     |       |
| 成績評価法  | 平常点、毎回の発表内容、授業に臨む姿勢などを総合して評価する。  |     |       |
| テキスト   | 使用しない。   |     |       |
| 参考書  | 授業中に適宜指示する。  |     |       |
| 履修に当たっての注意・助言  | とくになし。   |     |       |
| 講義計画   |  |     |       |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・最初の数回は講義を行う。</li> <li>・あとは、各学生に卒論のテーマ（研究テーマ）に応じて、発表してもらう。そのつどレジュメを作成のこと。</li> <li>・それぞれ先行研究についての問題点を整理し発表してもらう。</li> <br/> <li>・最低でも2回に1回は発表をしてもらう。毎週発表の場合もある。</li> <li>・他の学生の発表に際しても、その内容に応じた関連文献を事前に読んできてもらう場合がある。</li> <br/> <li>・このほか、その時々の新発見を話題にしたり、実際の遺物を用いながら、考古遺物の観察方法にも触れる。</li> </ul> |  |     |       |